

# 中村大輔ゼミ

募集人数 25

言語 日+英

選考方法 筆記・口述試験

書類選考に通過した応募者が対象

PBL (Project based Learning) を導入した、  
都市・地域経済学、経済立地論、厚生  
経済学、都市計画、地域政策など

キーワード：地域の高度化、QOL (Quality of life)、  
ウェルビーイング

## ゼミで学べること

空間経済学や都市計画などの実践的な  
学びを得ることができます。  
多摩市と連携したPBLもあり、学びを  
実際に活かす場もあります！

書類選考：募集開始時に設定され  
る期日内に所定の方法で書類提出を  
行っていただきます。提出内容は、これ  
までの単位取得状況、学修姿勢、ミニ  
レポート課題など。

## 先輩たち/教授からの声

授業時間外でのボランティアなど、住民の方  
と交流する機会などが多く、名前を覚えてい  
ただけると嬉しく感じます。  
声をあげれば、自分のやりたいことができる  
環境も整っているゼミです。

「競争よりも協力」という概念のもと、主体的行動  
力に加えて協調性を身に付けたい方々向けのゼミ  
です。公務員、国際大手物流、生保会社などゼミ  
OB・OGの皆さんの社会での活躍が自慢です。

## 課外活動等

放課後子ども教室  
エリアMTG  
寺小屋PJ  
など

## QR、リンク等



中村ゼミHP

ゼミの雰囲気：週末や平日授業時間外の課外活動が比較的多いです。地域の雰囲気づくりを検証する上で、本ゼミ自体が社会の縮図となり、できない・気が進まないといった環境ではなく、全メンバー参加型の雰囲気づくりに努めています。



### どんな学生に向いている？

「こんな地域づくりがしたい！」というアイデアがどんどん出てくる方にはとてもおすすめのゼミです！  
ゼミで学んだことを自身の所属する自治体や住んでいる地域に活かしたり、キャリアプランの形成に活かしたりする学生もいます。

### 直近の活動

「寺小屋プロジェクト」として、地域住民の方々が気軽に参加できるコミュニティづくりをめざしたプロジェクトが進行しています。  
つい先日、「かまどベンチで焚き火体験」というイベントを行い、通りすがりの人もふらっと立ち寄れる憩いの空間づくりを行いました

### イベントの様子



### ゼミ生集合写真



多摩市・中央大学共同研究事業が代表的な活動です。モデルエリアでの地域活動ボランティアなどもゼミ学生主体で行っています。



教員紹介：多摩市・中央大学共同研究事業「地域自治形成に向けた住民意識調査及び住民参画開拓のための共同研究」を中核として、近隣自治体との都市計画マスタープラン改定懇談会委員や、警視庁高尾署地域コミュニティアドバイザーなど、経済学の視点でまちづくりや地域政策に携わっています。